

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載
 【部門区分】第1部門第2区分
 【発行日】平成19年11月8日(2007.11.8)

【公開番号】特開2006-141725(P2006-141725A)
 【公開日】平成18年6月8日(2006.6.8)
 【年通号数】公開・登録公報2006-022
 【出願番号】特願2004-336411(P2004-336411)
 【国際特許分類】

A 6 1 B 1/00 (2006.01)

A 6 1 B 5/07 (2006.01)

【F I】

A 6 1 B 1/00 3 0 0 B

A 6 1 B 1/00 3 2 0 B

A 6 1 B 5/07

【手続補正書】

【提出日】平成19年9月19日(2007.9.19)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

第1の撮像手段を有するカプセル型内視鏡と、
 略円筒形状をしており、その内部に前記カプセル型内視鏡を収納保持する装着手段とを
 具備し、

前記装着手段が体内挿入具の外表面に対して着脱可能であることを特徴とするカプセル
 型医療装置。

【請求項2】

前記体内挿入具は、第2の撮像手段を有する内視鏡であって、
 前記装着手段には、前記内視鏡の前記第2の撮像手段の視野を確保するための孔部又は
 切り欠き部が形成されていることを特徴とする請求項1に記載のカプセル型医療装置。

【請求項3】

前記装着手段は、前記内視鏡の前記第2の撮像手段の視野方向と前記カプセル型内視鏡
 の前記第1の撮像手段の視野方向とが異なる方向となるように前記カプセル型内視鏡を前
 記内視鏡に装着可能であることを特徴とする請求項2に記載のカプセル型医療装置。

【請求項4】

前記装着手段は、前記第1の撮像手段が前記第2の撮像手段に対して基端側となるよう
 に、前記カプセル型内視鏡を前記内視鏡に装着することを特徴とする請求項2又は3に記
 載のカプセル型医療装置。

【請求項5】

前記装着手段は、前記カプセル型内視鏡の撮影光軸と、前記内視鏡の撮影光軸とが同軸
 上に重ならないように前記カプセル型内視鏡を前記内視鏡に装着可能であることを特徴と
 する請求項2から4のいずれか一つに記載のカプセル型医療装置。

【請求項6】

観察窓を有するカプセル型内視鏡と、
 該カプセル型内視鏡を体内挿入具に着脱自在に装着可能な装着手段と、
 を具備し、

前記カプセル型内視鏡は、位置決め手段を有し、
前記装着手段には、前記位置決め手段が嵌入される穴部が形成されていることを特徴とするカプセル型医療装置。

【請求項 7】

前記位置決め手段は、前記観察窓と反対側の前記カプセル型内視鏡の外周部に配設されていることを特徴とする請求項 6 に記載のカプセル型医療装置。

【請求項 8】

入力される前記カプセル型内視鏡及び前記内視鏡の各映像信号を合成し、同時に 1 つのモニタに合成画像として表示する画像合成表示装置を具備することを特徴とする請求項 2 から 7 のいずれか一つに記載のカプセル型医療装置。

【請求項 9】

第 1 の撮像手段を有するカプセル型内視鏡と、
挿入部及び第 2 の撮像手段を有する内視鏡と、
前記カプセル型内視鏡を前記内視鏡に着脱自在に装着可能な装着手段と、
を具備し、
前記挿入部には、前記装着手段の装着位置を選択的に決められるように、前記装着手段と係合する複数の係合手段を有することを特徴とするカプセル型医療システム。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】発明の名称

【補正方法】変更

【補正の内容】

【発明の名称】カプセル型医療装置及びカプセル型医療システム

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0001

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0001】

本発明は、既存の内視鏡にカプセル型内視鏡を装着可能とするカプセル型医療装置及びカプセル型医療システムに関する。

【手続補正 4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0016

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0016】

そこで、本発明は、上記事情に鑑みてなされたものであり、特別な構造を備えていない既存の内視鏡に装着でき、種々の内視鏡検査に対応できるカプセル型医療装置及びカプセル型医療システムを提供することを目的とする。これにより、病院は、高価な医療機器である直視型内視鏡及び側視型内視鏡を数多く購入しなくてもよくコスト低減を実現できるとともに、内視鏡の稼働率を向上させる目的としている。

【手続補正 5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0017

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0017】

請求項 1 に記載のカプセル型医療装置は、第 1 の撮像手段を有するカプセル型内視鏡と、略円筒形状をしており、その内部に前記カプセル型内視鏡を収納保持する装着手段とを

具備し、前記装着手段が体内挿入具の外表面に対して着脱可能であることを特徴とする。

請求項 6 に記載のカプセル型医療装置は、観察窓を有するカプセル型内視鏡と、該カプセル型内視鏡を体内挿入具に着脱自在に装着可能な装着手段と、を具備し、前記カプセル型内視鏡は、位置決め手段を有し、前記装着手段には、前記位置決め手段が嵌入される穴部が形成されていることを特徴とする。

請求項 9 に記載のカプセル型医療システムは、第 1 の撮像手段を有するカプセル型内視鏡と、挿入部及び第 2 の撮像手段を有する内視鏡と、前記カプセル型内視鏡を前記内視鏡に着脱自在に装着可能な装着手段と、を具備し、前記挿入部には、前記装着手段の装着位置を選択的に決められるように、前記装着手段と係合する複数の係合手段を有することを特徴とする。

【手続補正 6】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0018

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0018】

本発明のカプセル型医療装置及びカプセル型医療システムによれば、特別な構造を備えていない既存の内視鏡に容易に装着でき、種々の内視鏡検査に対応できると共に、内視鏡の稼働率の向上とコスト低減を実現することができる。